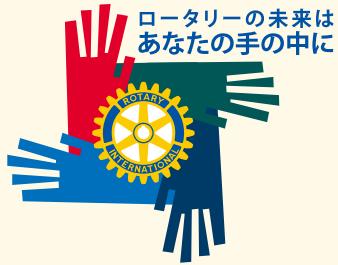




畔吉さら獅子舞（市指定無形文化財）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
NO.5
November 2009
2009-10年度国際ロータリー第2770地区

畔吉さら獅子舞《由来》

獅子舞の成立について史料には伝えられていないが、畔吉さら獅子舞は、岩槻城主太田氏房公が特に賞でられ高覧された格式高い獅子舞として、今に伝承されている。

ガバナーメッセージ

ガバナー 大塚 信郎（上尾）

皆様今日は

11月です。地区大会です。財団月間です。早いものですね。本年度も4ヶ月が過ぎました。私も10月末までに、58クラブの公式訪問・日韓親善会議・日本親善会議・7部門セミナーと、ガバナー職を駆進しております。

そして、14日～15日は地区大会です。本年度R.I会長ジョン・ケニー氏は、「一世紀余りにわたり発展し続けてきた奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって末長く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとりは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたとえることができます」と訴えられ、本年度のテーマを「ロータリーの未来は・あなたの手の中に」といたしました。

本年度の地区大会は、このR.Iテーマにのっとり、ロータリーの原点をじっくり考えていただくように、

企画いたしております。「ロータリーを学び・楽しもう」が地区大会テーマです。全員参加で有意義な地区大会なるようご協力をお願いいたします。

また、今月は財団月間でもあり、財団地域セミナーが東京で開催されます。この会議には、北年度のR.I会長グレン・エステス ロータリー財団管理委員長がお見えになり、今世界同時不況下のロータリー財団の現状についてお話しくださる予定です。地区内会員の中にも財団の現状について、ご心配・憂慮なさっている方も多々いらっしゃると思いますが、現在、世界の人口は開発途上国を中心に、毎年約8千万人増加しております。これらの人々は、R.Iの強調事項であります、保健と飢餓救済・識字率向上・水、に対しての援助を待っております。私たちの限りない援助を待っているのです。

地区は、財団部門委員長を中心に、財団をより深くご理解いただく為の卓話を行っております。是非ともご指名頂き、皆様方のご理解と、ロータリー財団増進への更なるご協力を願いする次第です。





ロータリー財団月間にちなんで

ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男（越谷北）

11月はロータリー財団月間になり、今年も会員皆様に年次寄付、ポリオ・プラスのご寄付をお願いすることになります。財団月間に因んで、よく質問される次の2点について記載させて頂きます。

① ポリオ・プラスの寄付について

ポリオ・プラスの寄付が岩渕年度では30ドルでしたが、大塚年度では50ドルになっております。これはビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のために、国際ロータリーに2回に亘って3億5,500万ドルの寄付の表明がありました。国際ロータリーもこれを受け、従来の「ポリオ撲滅1億ドルチャレンジ」から、「ポリオ撲滅2億ドルチャレンジ」と銘打って寄付をお願いすることになり、大塚年度では岩渕年度より20ドル多くなっているわけです。

我々、ロータリー財団部門もこれにより、来年2月24日（水）に「ポリオ撲滅チャリティ・コンサート」を開催することにしております。川口リリアのメインホールにおいて、明治大学マンドリン俱楽部と国際親善奨学生との合同コンサートを企画しており、後日、皆様にご協力頂くようになります。

② ロータリー財団への寄付金の使途について

「ロータリー財団への寄付金が、どのように使われているか分からない。」という声をよく耳にしますが、皆様からのロータリー財団への寄付金は、一旦、全額財団本部に送金され、そこで3年間運用されます。そして、3年後に年次寄付と恒久基金の利息の50%が国際財団活動資金（WF = World Fund）に使われ、残りの50%が地区財団活動資金（DDF = District Designated Fund）として地区に戻ってきてまいります。これをシェア・システムと言っております。

地区に戻ったDDFは、国際親善奨学生の派遣・受入、世界平和フェローのためのロータリー・センター基金へ寄贈、地区補助金、マッチング・グラント等に有効に使われております。

	ガバナーメッセージ	1
	ロータリー財団月間にちなんで	2
	鈴木 英男・和井田 昇	2
	岡田 和男・泉谷 聰	
	牛山 信康・下 和雄	
	広報部門セミナー報告	6
	ロータリー財団部門セミナー報告	6
	ロータリー・リーダーシップ研究会	7
	地区大会記念ゴルフ開催報告	7
目	地区大会のご案内	7
	公式訪問レポート 川口モーニング RC、八潮イブニング RC、越谷南 RC、岩槻 RC、川口 RC、春日部 RC	8
	公式訪問レポート 春日部イブニング RC、松伏 RC、草加 RC、越谷 RC、大宮 RC、幸手 RC	9
	第5回ロータリー情報ニュース	10
次	第4回職業倫理委員会情報	10
	文庫通信	10
	ロータリー財団寄付者一覧・お詫びと訂正	11
	米山記念授学会寄付者一覧・新会員のご紹介・計報	12
	出席報告	13
	『今こそ私たちの出番です』各クラブ活動紹介	14



ロータリー財団月間にちなんで

財団増進・ポリオ委員長 和井田 昇（吉川）

1917年、RI会長アーチ C・クランフは「世界で良いことをするために」基金設置の提案がなされ、1928年「ロータリー財団」となり、国際ロータリーから独立した機関として、現在にいたっております。ロータリー財団は、皆様方の寄付によって支えられ、多くの素晴らしいプログラムが、実践されております。ロータリー財団の意義を再認識して頂いて「解りにくい財団」ではなく、「自分たちの財団」として意識を高め寄付への理解と協力を願いいたします。

1、年次寄付目標

クラブ会員一人当たり	200 ドル
ポリオプラス	50 ドル
会員一人当たり合計	250 ドル

2、恒久基金目標

1 クラブ当たり	ベネファクター1名
会員50名以上のクラブ	ベネファクター2名

ベネファクターの寄付額は1,000ドルで、元金は使用せず、運用収益のみが3年後にDDFとして戻ります。

ポリオ撲滅運動

ポリオ撲滅運動は、国際ロータリー、WHO、UNICEF,CDC（アメリカ疫病センター）および各国政府の共同事業となっております。特に、前4者では「世界ポリオ撲滅推進計画」という組織をつくり、ポリオ撲滅を図っております。

現在、大半の国でポリオが無くなり、常在国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国です。世界では、ポリオを撲滅する可能性が、今、かつてないほど高まっています。今後20年間を見た場合、ポリオの抑制と治療にかかる代償は、その費用と人々の苦しみを考えると、撲滅を完遂した場合よりもはるかに大きなものになると報告されています。撲滅を完遂しなければ、毎年200,000人を超える子供たちが身体麻痺に冒されることになると予想されています。これまでの20年間の私たちの努力を無駄に終わらせることはできません。失敗は許されないのであります。

今こそポリオを撲滅することができるよう、ロータリーの2億ドルのチャレンジへのご支援をどうかよろしくお願いいたします。

財団奨学学友委員長 岡田 和男（大宮北）

ロータリー財団に対して地区内ロータリアンの皆様の日頃からの深いご理解と多大なるご支援に対し感謝申し上げます。

ロータリー財団部門では五つの委員会が活動しておりますが、ロータリー財団奨学学友委員会では本年度DDF（地区活動資金）・冠名奨学基金から10名の国際親善奨学生を世界各国へ送り出し、1名をベトナムから受け入れております。次年度は残念ながら冠名奨学基金による奨学生はありませんが、DDFより4名の奨学生を送り出す予定で年間5回のオリエンテーションを行っています。財団月間には皆様のクラブへの卓話にも委員に同行をいたします。

これまでに300名を超える国際親善奨学生を送り出し20名を超える奨学生を受け入れて参りましたが、これは当地区ロータリアンの皆様のロータリー財団へのご寄付によるものです。奨学生は留学先の地区およびロータリークラブを通じてロータリアンと交流を深めて、世界に日本と日本人および日本のロータリークラブ・ロータリアンを紹介いたします。留学を終えて帰国してからも財団学友として協力・活躍をいたしております。これからも多くの奨学生を世界へ送り出し、ロータリーが目指す世界平和に貢献することができますように皆様のご支援ご協力を願い申し上げます。



ロータリー財団月間にちなんで

研究グループ交換委員長 泉谷 聰（浦和）

「GSEチームメンバー選考結果について」

2009-10年度、GSEチームメンバー選考試験が9月13日、大塚ガバナー事務所において行われました。今年度の交換はR I 第1180地区で、英国のウェールズとイングランド両国からなる地域です。ビートルズ発祥の都市、そして熱狂的なサポーターに支えられ、イングランドプレミアリーグの常勝チームとして日本でも多くのファンを魅了するサッカーチームのある、リバプールを中心とした地区です。当地区チームは2010年5月から6月にかけ約1ヶ月間この地区を訪問します。

今回の選考試験には、4名の派遣枠に対し、7名の応募がありました。試験は例年通り2部構成で行われ、午前中に第1部の語学試験が、午後には第2部の面接試験が実施されました。

第1部の語学試験は、財団学友会の会長で慶應大学教授の鈴木五郎先生と同会副会長で栄東高校教諭の根岸晃先生に筆記・リスニング・インタビューの3課目の英語試験を実施いただき、総合点数100点で評価いただきました。

第2部の面接試験は、大塚ガバナー、田村R財団部門担当諮問、井橋ガバナーエレクト、鈴木英男R財団部門委員長、そして私泉谷の5名によって1人約15分づつ個別に行われました。面接では、態度、人間性、コミュニケーション力、積極性、協調性、職業知識、熱意度、ロータリー理解度、文化度、健康度を評価する10項目の質問がなされ、各自100点の持ち点で5名の採点合計の平均値を算出して評価しました。

このような厳正かつ合理的、専門的な選考試験の結果、次の4名を合格としました。

今井 瑞紀	戸田市役所	戸田西RC推薦
山下 隆史	ポラスグループ（株）中央住宅	越谷北RC推薦
齋藤 毅	大宮アルディージャ	大宮RC推薦
杉元 剛	浦和レッズ	浦和RC推薦 (受験番号順)

それぞれ語学に長け、国際性を合わせ持った人格優秀な若者ですが、今後5回程度のオリエンテーションを開催することによって、当地区の代表にふさわしく、両地区の親善と国際理解を深めるチームメンバーとして一層の磨きをかけていくことになります。

ロータリアン各位の温かいご支援ご指導をお願いします。



選考試験にて

世界平和フェローシップ委員長 牛山 信康（草加）

「世界平和フェローシッププログラム」

このプログラムは、ポール・ハリス没後50周年とロータリー財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、国際理解と世界平和を推進するというロータリー財団の使命を支援するために設立されました。「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター」に学ぶ、修士課程の学生を支援する奨学金制度です。

2009-10年度から恒久的な財団プログラムとなり、世界中に8大学、7ロータリー・センターがあります。日本には国際キリスト教大学にロータリーセンターが置かれ、只今世界中から選ばれた7期生、8期生の17人が学んでいます。当地区で受け入れしカウンセリングしているのは、7期生ジョルジ・メリビア君（メキシコ籍）とニコル・クラークさん（アメリカ籍）です。一方、当地区から送り出しているフェ



ロータリー財団月間にちなんで

ローは8期生の三浦曜子さんで、英国ブラッドフォード大学に学んでいます。いずれも1年間で世界で約60人しか選ばれない難関を越えた学生たちです。学業第一が至上命題ですから猛烈に学んでいます。2年間の修士課程を修了後、それぞれ世界平和構築のため紛争解決、紛争未然防止に係る仕事に就きます。ロータリー財団6つの重点分野の中でも筆頭に掲げられていることからして、その役割と期待の大きさがご理解出来ると思います。ロータリアンの皆様、世界平和フェローを支援しましょう！！

地区補助金委員長 下 和雄（大宮シティ）

「R I 第 2770 地区 09～10 年度 地区補助金申請結果について」

本年度の地区補助金申請の経過及び結果について、ご報告させて頂きます。

3/27,28 ペツ・4/22 地区協・5/26 補助金説明会と数回に亘り地区補助金についてご説明をさせて頂き、7月1日より地区補助金申請の受付を開始しましたが、9月18日には早くも43クラブの申請が有りました。(10/10現在 46クラブの申請)

約2ヶ月半で授与クラブ数に達したということは、当地区各クラブの財団部門への理解と地域社会への奉仕への情熱の表れと深く感謝申し上げます。

本年度、授与方式を「申込み順」から「承認順」に変えさせて頂いたことによって、いくつかの課題が出て参りました。

1つ目は、第1回目の審査結果を発送(9/28)する前に申込み数が授与クラブ数に達した為に、44クラブ目以降の申請受付をどうするかという事です。

2つ目は、「承認順」という方式の定義つまり「どの段階で承認と見なすか」という事を審査会でまず議題に取り上げなければならなくなつた事です。

1つ目についてはすべて受付することとしました。

2つ目については審査会で、「地区で修正依頼をかけた修正申請書が早くガバナー事務所に再提出されたクラブ順に承認とする。」という事で決定しました。当然遅く申請されたクラブは審査・修正依頼も遅くなるのは当然ですので、承認も遅くなる事をご了解頂かなくてはなりません。

遅れて申請しても、早く修正して提出すれば承認される可能性有りという事です。

現在、すでに授与クラブ数(承認枠を除く)の修正申請書がガバナー事務所に届いています。

今年度は※承認枠4クラブが全て申請予定です(1クラブを除いて3クラブが未申請の状態)ので承認数を上回った3クラブには補助金が授与出来ません。(10/02付各クラブへのお知らせの通り)

※承認枠：昨年度、年度途中の11月19日に開催された財団地域セミナーに於いて「TRFの指針」が変更され(人道性の解釈がより厳しくなり)、一部のプロジェクト(スポーツ・音楽会等文化的事業…etc)に対して補助金が使えなくなった事で、本年度第1回審査会において、その補助金の授与が出来なくなったクラブ(4クラブ)に対し、承認枠を残し優先的に補助金を授与することが決定しました。

【追補】次年度以降に向けてのお願い事項としまして

①申請書は必ず電子メールにてガバナー事務所に送信して下さい。

(FAXですと紛失の恐れ有りその他の為)

②メール送信後にガバナー事務所に確認の電話を入れて下さい。

(アドレスを間違えて入力する可能性有り。クラブにとって重要な案ですので)



報 告

広報部門セミナー報告

平成 21 年 9 月 12 日開催
広報部門委員長 寺門 孝彦（春日部）



広報部門セミナーは、平成 21 年 9 月 12 日（土）午後 1 時 30 分点鐘で、「世界に伝える 地域に伝える」とのテーマで、第 1 部が埼玉新聞社編集委員の野口 晴久様から「広報の社会的役割と使命」題して、「広報は、まず知らせることからスタートすべきこと」、「人脈づくりと相手への心配りが大切であること」をロータリアンに訴えました。

第 2 部は、ロータリー財団世界平和フェローの三浦曜子様から、英国ブラッドフォード大学への留学を直前にして、大学時代からボランティア活動に参加し、社会人になってから会計業務のかたわら、とくに「国境なき医師団」のタイミングへの参加を通して、紛争処理が平和に果たす役割の重大さに直面し、この研究に打ち込むことを決意、それがロータリーセンターでの研究のきっかけとなった過程を、実に感動的に講演されました。まさにロータリーを通じた「平和の伝道師」としての三浦さんの将来に大いに期待いたします。

当団は、ロータリー財団部門の協力をえ、約 200 人の参加を得ることができました。なお、本セミナーについては、翌 9 月 13 日（日）の埼玉新聞第 2 面で、宮本記者の記事が掲載されました。



報 告

ロータリー財団部門セミナー報告

平成 21 年 10 月 3 日開催
ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男（越谷北）



10 月 3 日（水）、13 時 30 分点鐘で、「ロータリー財団部門セミナー」を「さいたま共済会館」において開催し、210 名の方から登録を頂きました。

「世界と地域で良いことをしよう！」をテーマに、ロータリーの綱領唱和、大塚ガバナー、田村財団担当諮問からの挨拶では、ロータリー財団の変革についてお話を頂きました。

次に、田中作次元 RI 理事・現ロータリー財団管理委員の「未来の夢計画」について映像を使っての基調講演と、投資財政の現状についてお話を頂きました。

財団部門 5 委員会の活動について各委員長からも発表がありましたが、今回はロータリー財団学友、派遣国際親善奨学生、受入国際親善奨学生、GSE 派遣チーム・メンバー、世界平和フェローの皆さんスピーチ、自己紹介もセミナーを盛り上げてくれました。

北 清治パストガバナー・RRFC からも、「ロータリーの標語と使命について」の映像による講演を頂き、皆さんにご理解頂けたものと思います。

17 時 45 分からの『交流会の部』でも大勢の方が出席して下さり、和やかに懇親を深めることができました。

第 2770 地区は、2010 年 7 月 1 日からパイロット地区として、「未来の夢計画」による新補助金が導入されますが、クラブの皆さんにどのくらい理解して頂けたのか心配も残っております。11 月はロータリー財団月間にになりますので、我々も各クラブに出向いて卓話をさせて頂きます。また、今回のセミナーでお配りさせて頂いた「ロータリー財団セミナー」（冊子）、「ロータリー財団地域セミナー・ハンドブック」を活用して頂ければと思います。





報告

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI) 平成21年9月18日開催 RLI委員 布施 雅章(八潮)



分科会

9月18日(金)埼玉会館にて、パートⅡの研究会が午前9時30分より午後6時まで行なわれ、第2770地区内・外より135名のロータリアンの参加を頂きました。参加者は6分科会に分れ、セッションリーダーを中心に14~5名でテーマに添った意見交換が行なわれました。パートⅠに続きロータリー・リーダーシップと4大奉仕を中心としたテーマに、ロータリアンが真剣に取組んでいる姿が印象的で、参加された皆様からロータリーの奉仕の理想を再認識し、クラブの活性化とクラブの未来に向か、より活動していきたいとの意欲が表れていました。又、RLI日本支部委員・第2630地区の成川守彦パストガバナーより、効果的なご指導を頂きました。次回パートⅢは2010年2月15日(月)埼玉会館で開催を致します。パートⅠ・パートⅡの参加者の登録をお願いします。後日正式に各クラブ宛にご案内させて頂きます。

報告

地区大会記念ゴルフ開催報告

平成21年9月28日開催

ゴルフ実行委員長 矢部 一彦(上尾北)

平成21年9月28日(月)絶好のゴルフ日和の中、プレステージC.Cにおいて339名のロータリアン参加のもと盛大に開催することが出来ました。参加の皆様にはロータリアン相互の親睦とゴル夫を通じての楽しいひと時をすごしていただけたかと思います。

また、大会賞品の他に特別賞として大塚ガバナーよりガバナー賞、吉川実行委員長より大会実行委員長賞、井橋ガバナーエレクトより当日賞のご協力をいただき、大会に花を添えていただきました。

ゴルフ実行委員会一同、最善を尽くして皆様をお迎え致しましたつもりではございましたが、何かとご不便、不手際等多々あったかと思われますが、ロータリアンの友情に免じてご容赦いただければ幸いです。

また、大会の趣旨であります「ポリオ撲滅チャリティ」に対しまして皆様より多大なチャリティをいただき、目標額を達成する事が出来ました。厚くお礼申し上げ、無事大会が終了した事をご報告させて頂きます。

成績	
優勝	大槻 正雄(八潮中央RC)
2位	豊田 茂雄(三郷RC)
3位	邑田 茂(吉川RC)
ベストグロス賞	
男性	中村 靖治 74(吉川RC)
女性	福田 和子 80(大宮南西RC)



2009-2010年度 国際ロータリー第2770地区

地区大会のご案内

期日：2009年11月14日(土)・15日(日) 会場：さいたま市文化センター

<大会テーマ> Learn & Enjoy Rotary 「ロータリーを学び・楽しもう」

大会 第1日

11月14日(土)

●大会第1日 本会議(大ホール)

11:30 登録開始

12:30 点鐘

地区指導者育成セミナー 他

●RI会長代理ご夫妻歓迎懇親会
(浦和ロイヤルパインズホテル)

19:00 開会

大会 第2日

11月15日(日)

●大会第2日 本会議(大ホール)

11:30 登録開始

12:20 点鐘

記念講演 講師 紺野美紗子氏

アトラクション ロス・インディオス 他

●大懇親会

18:50 開会

皆様のご来場をお待ち申し上げます。



公式訪問レポート

川口モーニング R C

例会日 平成 21 年 8 月 22 日

会長 高橋 明賢

幹事 岩田 秀明

事前にクラブの現状把握、委員会年度方針と計画、地区へ資料提出で臨みました。ガバナーには資料をよく読まれて、絞り込んだアドバイスをいただきました（会員増強・長期計画を持つことの意味等）。R I メッセージ伝達は特に、ボリオを日本人の立場で実感できる説明があり、クラブの合併の質問には会員維持の点から難しく、現状を見守っていくとの説明がありました。



越谷南 R C

例会日 平成 21 年 9 月 3 日

会長 石塚 一男

幹事 水町 俊介

9月3日、越谷サンシティ内の櫻の間において、大塚信郎ガバナーをお迎えして、青木伸翁ガバナー補佐にもご出席を頂き、公式訪問を開催致しました。

会長・幹事・会長エレクト・副幹事を交えての懇談会において、大塚ガバナーより、今後のクラブに対する暖かいご指導を頂きました。

例会での大塚ガバナーの卓話ではプロジェクトを使い、R I テーマや地区の方針をわかりやすく説明して頂き、またクラブ協議会では各委員長の今年度の方針についての発表に対してご指導頂き、今後のクラブの発展に生かしたいと思っております。

大塚ガバナー、青木ガバナー補佐を囲んでの懇親会も楽しく行われました。

大塚ガバナー、青木ガバナー補佐の益々のご健勝をご祈念申し上げ、公式訪問の報告とさせていただきます。



川口 R C

例会日 平成 21 年 8 月 27 日

会長 安達 善一

幹事 新井 秀雄

8月27日（木）大塚ガバナー、田中ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。

残暑厳しき中の例会となりましたが 多勢のメンバーが参加いたしました。

例会に先立ち会長・幹事・会長エレクトとの懇談会が行われ、ガバナーより川口 R C の現状と将来のビジョン等についての質問があり有意義な意見交換が行われました。特に長期計画の大切さが説かれました。

例会では R I テーマや地区運営方針についてガバナーより熱い説明がなされました。

例会終了後全員で写真撮影を行い、その後クラブ協議会が別室で行われました。各委員長の他にも新会員・パスト会長等多勢の参加がありました。

各委員長の方針についてガバナーより親切、丁寧な解説が行われ各自がロータリーに関する知識を得ることができました。特に新会員からは大変印象深い、又ガバナーのお人柄にもふれることができた楽しい公式訪問例会であったと報告がありました。

大塚ガバナーを先頭に地区ロータリーの益々のご活躍をご祈念申し上げます。



八潮イブニング R C

例会日 平成 21 年 8 月 26 日

会長 小林 洋一 幹事 太田 周蔵

8月26日、30番目の公式訪問が大塚ガバナー、第9グループ加藤修三ガバナー補佐をお迎えして開催されました。

例会の前に面談がありました。ガバナー、ガバナー補佐、白岩会長代行、太田幹事、池永エレクト五人の出席のもとガバナーより会員減少の為、会員増強の強い要望のお話がありました。中・長期を見据えた御指導を受けました。例会では大塚ガバナーより、R I テーマ、地区運営方針などスクリーンでのわかりやすく、しかもていねいにすばらしい説明をされました。

続いてクラブ協議会では各委員会の発表があり、発表に対してていねいに御講評いただきました。時間がオーバーする程の力の入れようでした。

長時間本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

大塚ガバナーにおかれましては、お体に気をつけて、ロータリーの発展に、御活躍なされることをお祈り致します。



岩槻 R C

例会日 平成 21 年 9 月 10 日

会長 曽根 孝 幹事 青木 繁之

9月10日大塚信郎ガバナー、小宮勝男ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。例会前の懇談会において、大塚ガバナーよりジョン・ケニー会長の考えを広めること、会員増強、財団への寄付のお願いなど、我々ロータリークラブの現況の中で、現実に沿った指針をお話して頂き、実のある内容であったと痛感いたしました。

とくに職業分類表の活用の仕方については、例えば魅力あるクラブづくりとは、若い世代を増強することによる体制強化を図る、会員が1名減ると、親睦、奉仕活動にも大いに支障をきたすことになる我々クラブに対し、常に周年事業を意識して、単年度ではなく、5年単位を念頭においた増強計画を目指すクラブ運営部門における中・長期計画（3年・5年）を確実にクリアしていくクラブとしての体制作りを目指していく覚悟であります。

ガバナー公式訪問がなんとか無事終りましたことは、大塚信郎ガバナー、川島地区幹事をはじめ、関係者の皆様のお力添えの賜物と感謝申し上げる次第であります。誠にありがとうございました。



春日部 R C

例会日 平成 21 年 9 月 15 日

会長 田村 友彦 幹事 園部 博士

大塚ガバナー、第6グループ染谷ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、和やかにそして活発な論議、ガバナーからは中長期計画の重要性、会員増強など有益なご指導を戴きました。

例会では、ガバナーはプロジェクトを用いてR I および地区の方針を、会員に分かり易く説明されました。続くクラブ協議会、各委員長の発表に対して丁寧なご講評を戴き、予定時間を越え熱意あるものに為りました。その後の懇親会と5時間強に渡りお付き合い戴きました。

夜は春日部イブニング R C の公式訪問と、ガバナーは大変忙しいスケジュールです。当クラブ訪問が41番目、ガバナーにとってちょうど折り返し地点。パワフルが上にもパワフルなガバナーに強く感じ入った一日ありました。





春日部イブニング

例会日 平成21年9月15日

会長 根本 武雄 幹事 竹田 昌義

大塚ガバナー、染谷ガバナー補佐をお迎えし当クラブ根本会長、安田副会長、竹田幹事にて17時より懇談会をさせて頂きました。

まず大塚ガバナーは当クラブ本年15周年と思われ少々落胆されたようです。当クラブに対してきちんと棚卸しを行い長中期計画を立てる事、会員増強に関しては20周年までには40名クラブに挑戦する事を目指し、目的の為に正しく計画をたてる指導を頂きました。又、職業分類表に関してはもっと簡潔にそして医師、薬剤師等の方々の入会を求められ2ヶ月に1度はクラブ協議会の開催を実施するようご指導頂きました。

例会にて石井氏へ新会員、新会員促進者へのバッチ付けそして早川前会長にはR I会長よりのバッジ付け後、ガバナー卓話にてプロジェクトでR I会長「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を始め、大塚ガバナーの当クラブに対して長中期に対して5年スタンスで進んで頂きたいと事、そして3年末満の会員が多数なので当クラブの歴史を伝え20周年向け進んで行く様に御指導いただきました。

クラブ協議会にては各部門長、委員長さんの当クラブ方針を聞いてアドバイスを頂きました。出席報告に関して当クラブはその日の報告が当たり前と思っておりましたがガバナーのお考えが良く理解できました。

懇親会にて大塚ガバナーの心暖かいお人柄に触れ一同感謝し「手に手をつないで」を唱和し閉会となりました。

大塚ガバナーは早朝よりご準備にて昼間は春日部ロータリー、夕刻よりイブニングロータリー訪問、大変お疲れの事と思い深く感謝申し上げます。今後もクラブ訪問、会合多数の事と思いますが御健康に留意される様ご祈念申し上げます。ありがとうございました。



草加 R C

例会日 平成21年9月2日

会長 高橋 通泰 幹事 辻本 力

9月2日、大塚信郎ガバナーと加藤修三ガバナー補佐をおむかえして、地区内33番目の公式訪問でした。

当日は、2名のお客様と会員令夫人も出席しての例会でした。当クラブは、会員数19名という創立以来の少人数になり、ガバナーからはもっと積極的なクラブ運営と職業分類を活用しての会員増強をするよう助言を頂きました。

2年後の50周年に向けて会員増強し、クラブが活性化するよう全員で頑張ります。



大宮 R C

例会日 平成21年8月26日

会長 川島 利雄 幹事 橋本 和久

大塚信郎ガバナー・林正憲ガバナー補佐には公式訪問にてご指導いただきありがとうございました。在会51年の松澤良一会員（前列左～3人目）、入会50年の平沼康彦会員（前列右～4人目）のお二人は益々意気昂々にて例会に参加いただいています。30代から80代の会員が同じテーブルを囲み和気藹々とロータリーライフをエンジョイしているのが大宮ロータリークラブのなによりの自慢です。



松伏 R C

例会日 平成21年9月8日

会長 大塚 節子 幹事 金子 一男

9月8日、17時半から第10グループ最後の公式訪問を大塚ガバナーと大熊ガバナー補佐をお迎えして開催させていただきました。

例会前の面談では、増強についてと財団寄付の重要性などを熱くご指導いただきました。

例会では出席率100%で、ガバナーをお迎えしスクリーンを使わながらRI及び地区の方針をお話しし、解りやすく説明してくださいました。スクリーンに会長のペツツの研修風景の写真を映し出してくださいる心配り・気配りに会員全員が感激していました。

続いて、クラブ協議会では各委員長の活動方針を丁寧に講評し、増強と財団については更に熱くご指導くださいました。

今年度になり3名の新会員を迎え、ガバナーと約束した6名の増強に会員一同、心を一つにし今後も、楽しいロータリー活動をして行きたいと思います。



越谷 R C

例会日 平成21年9月1日

会長 森 仁三 幹事 江原 武男

9月1日(火) 大塚信郎ガバナー・青木伸翁ガバナー補佐をお迎えし公式訪問がございました。

例会前の懇親会、例会、クラブ協議会、そしてアフターの懇親会と長時間に亘るエネルギーで適切なご指導の連続がありました。

R I会長方針・地区活動方針が始まり、来年の50周年を迎える歴史と伝統を誇る越谷ロータリークラブの特質をつかんだ具体的な内容にも大変感心させられました。

C L Pの導入と中長期計画・歴史と伝統の誇る越谷ロータリークラブにふさわしい会員100名迄の会員増強、そして具体的な奉仕活動のあり方等、今後のクラブ運営に多いに役立つご指導は圧巻がありました。

心から感謝申し上げたいと思います。



幸手 R C

例会日 平成21年9月9日

会長 櫻井 進 幹事 針谷 裕一

平成21年9月9日(水) 大塚信郎ガバナー、金沢利幸ガバナー補佐をお迎えし公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立っての懇親会では、我クラブの45周年及び50周年に向けての中長期計画について熱心にご指導頂きました。中でも会員の出席率を上げる為にはどうしたら良いか。又、会員増強については職業分類の見直しから手を付けたらどうだろうかと具体的なご指導を頂き大変参考になりました。

例会では新会員にロータリーバッヂを付けて頂き卓話ではプロジェクトを使って会員に少しでも理解できる様ご配慮されながら話され感謝致します。

クラブ協議会では各委員長の年度計画方針発表に的確なご指導とアドバイスを頂きました。

また、会場を移動しての懇親会ではお疲れであったにも拘らず参加して頂き会員一同、有意義な一日を送らせて頂きありがとうございました。

最後に大塚信郎ガバナー、金沢利幸ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。

これからもご活躍とご健康をお祈り申し上げ、ガバナー公式訪問の報告とさせて頂きます。



※順不同



連載

第5回 ロータリー情報ニュース

今さら人に聞けない 「ロータリークラブの最高の議決機関とは？」

ロータリー情報委員長 篠原 唯史（浦和北東）

新会員さんが、ロータリークラブを理解するには組織の概要と用語を知ることが一番でありますので、「クラブ組織」と「会社組織」の違いについて触れたいと思います。

理事会はクラブ内において、最高の自主管理権を持っている。総会を最高の議決機関とする一般の常識はロータリーには適用されておらず、「理事会」がすべての議案に関する先議権を持ち、クラブ事項に関する理事会の決定は最終決定となる。クラブの代表権者は会長と幹事であるが、この代表権といえども理事会の決定が優先し、仮に会長、幹事が他クラブや RI と約束ごとをしたとしても、理事会がこれを拒否すれば無効となる。理事会の決定を覆す為には、定足数を満たした例会で 3 分の 2 以上の賛成を得なければならない。万一これが可決された場合には、理事会の不信任にさえつながりかねない重大事と言える為、理事会が大きな権限を持つと同時に大きな責任を持つことを意味する。議事の提案に当たっては事前に充分会員の意見を聞く配慮が必要であり、決定に当たっても理事全員のコンセンサスを得るべきであるという理由から、理事会の決定については、過半数主義を探らず、全員一致主義を採用しているクラブも多い。会員の入会や会員身分の終結も、理事会の決定によって確定するので、慎重かつ適正な決定が必要である。

理事会は審議機関であり、理事会のメンバーである会長、副会长、会長エレクト、理事および、職権理事（職権上理事とみなされるものであり実際は理事ではない）としての幹事、会計で構成される。会長エレクトや副会长がクラブ管理運営委員長を兼任する場合は、その職責上理事に就任するが、そうでない場合は必ずしも理事である必要はない。幹事、会計及び SAA が議決に参加すべきか否かについては賛否両論があるが、何れに決定した場合でも、細則に明記しておく必要があろう。クラブ運営を円滑に行う為には、事案を審議決定する審議機関（理事会）と、決定した事案を実行する執行機関（役員）とを明確に分離しておく必要がある。（ロータリー情報マニュアルより）



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えてあります。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

ロータリー情報—ガバナー月信他から

- ◎「ロータリーの魅力について」 牧田静二 2009 2p (D.2620)
- ◎「大連 R C の『ロータリー宣言』(大連宣言)について」 岩渕 均 2009 2p (D.2770)
- ◎「よねやま雑感」 板橋敏雄 2009 1p (D.2550)
- ◎「三井報恩会(初代理事長米山梅吉)の結核撲滅と救癒援助」 長谷川 了 2009 3p (米山梅吉記念館報)
- ◎「概説 我が国に於ける戦前のロータリー運動」 金子秀隆 2009 6p
- ◎「ロータリーを語る ロータリー鼎談」 足立功一(コーディネーター) 2009 4p (D.2580)
- ◎「『ロータリーとは?』—ロータリアンであることの意義」 成川守彦 2009 15p (D.2760)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

第4回 職業倫理委員会情報

「事業の継続的繁栄はいかにリピーターの顧客をつかむか..」

職業倫理委員長 清水 裕次 (岩槻東)

先月掲載分でお話したタクシーのお客様にとってのいつもと違う運転での満足感、そしてタクシードライバーとしての職業人のお客様がお乗りいただいたという感謝の念。この裏に隠されているのが職業奉仕と考えてください。職業奉仕には適正なる利潤があるのが原則であります。ここにアーサー・フレデリック・シェルドンが唱えた職業奉仕の奉仕理論「He Profits Most Who Serves Best」最も奉仕をするもの、最も多く報いられる、の原点があるものと思っております。

「小さなサービスをすれば、小さな利益しか得られないが、大きなサービスをすれば、大きな Profits が得られる」と言っているのであります。

そして帰りに路上に体の具合のわるそうな人を病院まで運んだ行為が「超我の奉仕」「Service Above Self」という人道的奉仕ということになるわけであります。

「ロータリーの哲人」といわれたシェルドンは、大学で専門に経営学を研究した学者で、人がその事業において成功を収めるのは偶然や幸運によるものではなくて科学的な必然である。つまり原因があって結果が現れるのであるといっているのです。彼は、卒業後は図書の訪問販売をしその成績は抜群のトップセールスマンだったそうです。たまに人を欺くような商法で大儲けをしても必ずいつかは、遠からずして馬脚を現し失敗するものである。そうでなくては、嘘偽りのない品質のものを、適正な価格で、契約どおりの適量を提供し誠意を持ってアフターサービスする事を守っていればリピーターが増え、その人が広告塔となって事業が栄っていくと唱えたのであります。事業の継続的繁栄はいかにリピーターのお客様をつかむか、ということにつきます。彼はロータリーの哲学という演説でこれを「奉仕の三角形」といって紹介しているのです。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えてあります。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

ロータリー文庫

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時～午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



ロータリー財団

大口寄付 (715,291\$)	田中 作次 (八潮) 平成 21 年 9 月 30 日	大口寄付 (16,800\$)	坂巻 幸次 (越谷) 平成 21 年 8 月 28 日	大口寄付 (15,000\$)	瀧田 大樹郎 (越谷) 平成 21 年 8 月 28 日	大口寄付 (14,635\$)	西 幸治 (川口) 平成 21 年 9 月 17 日	大口寄付 (12,000\$)	岡庭 明 (三郷) 平成 21 年 9 月 24 日	大口寄付 (11,200\$)	石井 治 (春日部) 平成 21 年 9 月 9 日	
大口寄付 (10,500\$)	三國 明 (春日部西) 平成 21 年 9 月 10 日	M・P・H・F (7)	三上 憲治 (浦和東) 平成 21 年 9 月 11 日	M・P・H・F (6)	高岡 敏夫 (浦和東) 平成 21 年 8 月 31 日	M・P・H・F (6)	三澤 春樹 (上尾北) 平成 21 年 7 月 24 日	M・P・H・F (5)	斎藤 實 (大宮西) 平成 21 年 9 月 28 日	M・P・H・F (5)	小宮 勝男 (岩槻) 平成 21 年 9 月 30 日	M・P・H・F (5)
M・P・H・F (5)	押田 一夫 (川口・鳩ヶ谷武南) 平成 21 年 8 月 11 日	M・P・H・F (4)	島根 常二 (越谷東) 平成 21 年 9 月 18 日	M・P・H・F (4)	吉田 瞳治 (大宮西) 平成 21 年 9 月 28 日	M・P・H・F (4)	松岡 晉 (浦和東) 平成 21 年 9 月 29 日	M・P・H・F (4)	古谷 光夫 (春日部西) 平成 21 年 9 月 17 日	M・P・H・F (3)	小林 悅也 (越谷) 平成 21 年 8 月 28 日	M・P・H・F (2)
M・P・H・F (2)	三輪 俊行 (春日部西) 平成 21 年 9 月 17 日	M・P・H・F (2)	大野 光政 (越谷) 平成 21 年 8 月 28 日	M・P・H・F (2)	大森 忠篤 (上尾北) 平成 21 年 7 月 24 日	M・P・H・F (2)	佐藤 正行 (浦和東) 平成 21 年 9 月 29 日	M・P・H・F (2)	内藤 清一 (川口・鳩ヶ谷武南) 平成 21 年 8 月 11 日	M・P・H・F (2)	渡邊 和良 (浦和北) 平成 21 年 9 月 17 日	M・P・H・F (2)
M・P・H・F (2)	向井 豪 (春日部西) 平成 21 年 10 月 5 日	M・P・H・F (2)	加藤 尚雄 (桶川) 平成 21 年 9 月 25 日	M・P・H・F (1)	中山 晋 (川口・鳩ヶ谷武南) 平成 21 年 7 月 29 日	P・H・F	川崎 俊晴 (川口・鳩ヶ谷武南) 平成 21 年 8 月 12 日	P・H・F	吉野 寛治 (越谷) 平成 21 年 8 月 27 日	P・H・F	丹井 亮一 (桶川) 平成 21 年 9 月 25 日	P・H・F
P・H・F	木村 好子 (春日部西) 平成 21 年 10 月 5 日	ペネファクター (1)	高柳 国男 (八潮) 平成 21 年 9 月 30 日									

★お詫びと訂正★

10月号のロータリー財団寄付者（11頁）におきまして、誤りがありました。
ここに訂正してお詫び申し上げます。

■ ロータリー財団寄付者

清水 晃 様 (大宮南)
誤 大口寄付 (10,000 \$) → 正 大口寄付 (11,000 \$)
伊田 誠一 様 (川口北東)
誤 井田 誠一 様 → 正 伊田 誠一 様



米山記念奨学会



新会員のご紹介



◆訃報◆
謹んでお悔やみ申し上げます。



吉田 法夫会員 (庄和)
平成 21 年 10 月 4 日ご逝去
享年 65 才

2009 ~'10年度 9月の会員数及び出席報告

		2009年 7月1日現在		当月末会員数		当月 内女性 入会	当月 内女性 退会	増減	当月 出席率	当月 順位	当月 通算 順位
		クラブ名	内女性	内女性	入会						
第一グループ	浦 和	102		102		1		1	99.04	2	3
	浦 和 東	73	1	78	1	1		5	85.44	29	23
	浦 和 南	37		36		1	-1	86.46	26	17	
	浦 和 中	41	2	40	2	1	-1	84.61	33	59	
	浦和タイヤモント	21	11	22	11			1	97.70	3	2
第1グループ計		274	14	278	14	1	3	4	90.65		
第二グループ	浦 和 北	73	5	76	5	1		3	92.44	10	9
	さいたま中央	50	2	50	2				79.50	55	54
	浦 和 西	13	2	13	2				86.54	25	45
	浦 和 北 東	38		38					83.10	39	47
	さいたま新都心	38		39		1	1	84.21	34	22	
浦和イフニンク		9	1	9	1				81.48	48	69
第2グループ計		221	10	225	10	1	1	4	84.55		
第三グループ	大 宮	57		58		1	1	1	75.22	65	52
	大 宮 南	34	3	34	3				88.23	19	37
	大 宮 中央	50		53				3	75.96	64	74
	大 宮 南 東	9	2	10	2			1	80.00	53	31
	大 宮 シ テ イ	59	6	58	6		1	-1	78.88	57	55
さいたま櫻		18	2	19	2			1	82.46	42	41
第3グループ計		227	13	232	13	1	2	5	80.13		
第四グループ	大 宮 西	43		45		1		2	78.22	60	64
	岩 櫻	35	4	34	4			-1	63.94	80	81
	大 宮 北	26	1	27	1			1	60.42	81	78
	大 宮 南 西	14	1	14	1				82.14	44	58
	大 宮 東	37		37					84.96	32	15
岩 櫻 東		32	1	32	1				82.17	43	62
大 宮 北 東		19	2	20	2			1	78.75	58	44
岩 櫻 中央		18		18					93.05	9	7
第4グループ計		224	9	227	9	1	0	3	77.96		
第五グループ	上 尾	46	1	46	1				88.59	18	14
	鴻 巣	34		34					83.20	38	32
	桶 川	29		29					88.00	20	26
	上 尾 西	45		45					91.06	16	11
	北 本	6		8		1		2	75.00	66	79
上 尾 東		23		23					66.43	79	77
上 尾 北		28		28					92.00	11	6
鴻 巣 水 曜		32	3	32	3				79.57	54	49
桶川イフニンク		17	2	17	2				76.47	62	65
第5グループ計		260	6	262	6	1	0	2	82.26		
第六グループ	春 日 部	43		43					91.23	14	21
	杉 戸	25	2	25	2				91.00	17	28
	春 日 部 西	36	4	37	4	1		1	80.10	52	47
	庄 和	21		21					76.10	63	60
	春 日 部 南	27	5	27	5				68.52	75	73
春日部イフニンク		23	1	25	1	2		2	85.10	30	16
杉 戸 中央		24		25				1	74.00	67	70
第6グループ計		199	12	203	12	3	0	4	80.86		

		2009年 7月1日現在		当月末会員数		当月 内女性 入会	当月 内女性 退会	増減	当月 出席率	当月 順位	当月 通算 順位
		クラブ名	内女性	内女性	入会						
第七グループ	幸 手	44	2	46	2	1		2	71.97	69	63
	蓮 田	29		32				3	69.53	73	61
	久 喜 菖 蒲	55	2	56	2	1		1	81.83	45	40
	栗 橋	13		14				1	83.64	37	27
	幸 手 中央	25	1	25	1				68.00	77	42
第7グループ計		166	5	173	5	2	0	7	74.99		
第八グループ	越 谷	78		77				-1	93.98	7	4
	越 谷 南	42	2	46	2	1		4	81.56	47	51
	越 谷 北	52		52					84.00	35	29
	越 谷 東	46	6	46	6				94.57	5	5
	越 谷 中	16	1	16	1				70.02	71	80
第8グループ計		234	9	237	9	1	0	3	84.83		
第九グループ	草 加	19	2	19	2				66.80	78	68
	八 潮	46	5	46	5				87.28	22	20
	草 加 南	13	1	13	1				80.76	51	38
	八 潮 イフニンク	26	1	25	1			1	84.00	35	34
	草 加 イフニンク	11		11					81.82	46	56
八 潮 中央		15		15					100.00	1	1
草 加 中央		25	1	25	1				73.00	68	76
八 潮 シ テ イ		12		12					70.00	72	71
草 加 21		9	3	8	3			1	-1	91.67	12
第9グループ計		176	13	174	13	0	2	-2	81.70		
第十グループ	吉 川	29	1	29	1				86.21	28	25
	三 郷	28	2	28	2				83.03	40	30
	三 郷 中央	24		25				1	86.96	23	43
	三郷ウェンスティー	20	2	22	2			2	91.67	12	19
	松 伏	12	3	14	3			2	87.50	21	13
第10グループ計		113	8	118	8	0	0	5	87.07		
第11グループ	川 口	79	11	79	11				68.04	76	72
	鳩ヶ谷	30	1	31	1			1	76.57	61	53
	川 口 東	20	2	19	2			-1	86.40	27	57
	川口・鳩ヶ谷武南	28	2	28	2				68.75	74	66
	川 口 モーニング	29		29					81.25	49	39
川 口 南		31	4	31	4				70.96	70	67
鳩ヶ谷シティ		15	1	15	1				91.07	15	18
第11グループ計		232	21	232	21	0	0	0	77.58		
第12グループ	戸 田	52	6	53	6				1	82.90	41
	蕨	30	1	30	1				79.45	56	24
	川 口 西	25	3	25	3				78.41	59	46
	戸 田 西	32	3	31	3			-1	86.61	24	35
	川 口 北	33		36	2	2		3	93.56	8	12
川 口 北 東		29	3	27	3			-2	85.00	31	50
川 口 中央		15	1	13	1			2	-2	94.44	6
川 口 む さ し 野		15		16				1	96.42	4	8
戸 田 イブニング		20		23				3	80.95	50	75
第12グループ計		251	17	254	19	2	2	3	86.42		
地区合計		2,577	137	2,615	139	13	10	38	82.42		



『今こそ私たちの出番です』

このページでは、当地区の様々な各クラブの奉仕活動をご紹介するページです。
ロータリークラブだけでなく、インターラクトクラブやローターアクトクラブからの記事もお待ちしております。

川口北
RC
•
•
•



- フランクストン高校と川口北高校の交流会
- ロータリーの究極の目的は世界の平和、フランクストンの皆様と川口北高校の皆様の交流が、日本とオーストラリアそして世界の平和と発展していく礎の活動となることを強く願って。

浦
和
RAC
•
•
•



- 「富士見乳児院」を訪問
- 10月18日、ローターアクト活動として久喜にある「富士見乳児院」を訪問。参加者は、浦和RCより、宮下会長、岩渕さんとお嬢様、村山さんと奥様、原ローターアクト委員長、浦和ローターアクトメンバー4名、八潮ローターアクトメンバー4名、の総勢14名でした。わずかの時間でしたが子供たちと一緒に芋ほりをして楽しい時間をすごしてきました。

米山記念奨学生・学友合同奉仕活動を終えて

米山記念奨学部門委員長 遊馬 久治（大宮北東）

好天に恵まれた9月26日（土）、42名乗車の1台の大型バスが“社会福祉法人 上尾あゆみ会”に向け発車しました。

毎年恒例の米山記念奨学生と米山学友の奉仕活動の始まりです。ここ数年間は、ガバナー出身の駅前清掃活動を行なって参りましたが、今一度考え直そうということになり、福祉施設での慰問活動という案がでてきました。幸い、大塚ガバナー所属の上尾RCにそういった施設を運営なさっておられる方がおり、ご協力を頂いて実現の運びとなりました。

セレモニーからはじまり、午前中は施設の利用者である子供たちと軽スポーツ。お昼は施設で用意していただいた給食を利用の方といろいろな話をしながらいただきました。

午後の部では、奨学生と学友による様々なショーの時間。奨学生の司会進行で、漫才からはじまり、民族衣装をまとった華やかなファッショショーン等。利用者の皆さんから絶大な賞賛を浴びて、お互いに大満足。最後には、学生達は利用者からの握手攻めに。全員で記念撮影をしていよいよお別れの時間。

「また、来てね。」という利用者からの声に、今回、この奉仕活動で本当に良かったと思いました。

